

枇杷^{びわ}は冬になつても青々とした緑をつけている。

枇

び

杷

わ

は
晩

おそ

く
翠

みどり

に、



支

麻 ●

梧桐あおぎりは早く葉がしぼんで落ちてしまう。

梧

ご

桐

とう

は

早

はや

く

彫

しぼ

む。



虞

東

古い根はしぼみ枯れ、

陳

ちん

根

こん

は

委

い

翳

えい

し、

委

翳

陳

根

●支

真

●齊

元

落葉は散って風のままに舞っている。

落

らく

葉

よう

は

飄

ひょう

颻

よう

す。

飄颻

蕭

飄颻

蕭

落

葉

空に遊ぶ大鳥が一羽で飛びめぐり、

遊

ゆう

鵬

こん

は

獨

ひと

り

運

めぐ

り、



尤

元

赤く染まった空にのぼりせまる。

絳

こう

霄

しょう

凌

りょう

摩

ま

す。

絳

霄

凌

摩

・

蒸

蕭

歌

耽

たん

讀

どく

して

市

いち

に

翫

あそ

び、

街に出では書物を読み耽^{ふけ}り、

翫

耽

市

讀

※読と同字

覃

家にあつては袋や箱に収められた書物に注目し
ひたすら学問に^{はげ}励む。

目

め

を

囊

箱

に

寓

す。

のう
しょう

ぐう

囊箱

箱

寓

目

陽

陽

軽率になることは、とにかく畏れ^{おそ}慎むべきである。

易

えき

輶

ゆう

は

畏

おそ

るる

攸

ところ

、

攸

畏

易

輶

尤

尤●

生垣や壁には耳がある。

耳

みみ

を

垣

えん

牆

しょう

に

属

ぞく

す。

垣

牆

属

耳

元

陽